



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 教育・広報部
2022年6月10日 No.488

2022年度夏季手当 追加支給を求めるシリーズ⑫

他労組組合員や労働組合未加入社員から 東日本ユニオンに寄せられた声 part 6

仕事量に対してこの数字はないなと思いました。もっと出して欲しいです！

コロナで赤字なのは会社だけではありません。家計も赤字で生活費を切りつめた1年でした。これじゃ生活できません。

物価上昇率に見合った回答をお願いします。

ウチの組合も再申し入れしています。2.3ヶ月じゃ到底納得できないです！

この3年、コロナで実家に帰省できませんでした。今年こそ帰れると思っていますし、その時の交通費にと考えていましたが、これでは土産も買って帰れません。

回答を見て「上手いなー」と感じました。去年と一緒に不満やモチベーション上がらないと反響あるのかもしれませんが、2.3ヶ月は会社にとってそんなに痛くない数字出すことで「頑張ろう」って思ってしまう社員ばかりですもんね。

去年に比べ大幅に赤字額を減らしているのは、社員の頑張りではないか。それなのに、この回答では納得できないです。追加申し入れとかできるのですね！期待しています。

夏休みに家族でディズニーランド行こうって盛り上がっていたのに家族になんて言おう。収益状況見ていたら、期待できると思っていました。

職場にどれくらい上乘せ（成績率の増額5%や10%）貰っている人がいるのか気になります。何をすれば評価されるのかも知りたい。

コロナ禍を理由に人件費を抑え、社員の収入は減少。仕事量は増加。未来ある若手社員はこの会社に見切り付けるのは当たり前。せめて手当だけでも社員の気持ちをくんでくれれば変わると思いますが。

制服を変えたり、使いもしないリクライニングシートなんていりません、給料や手当を手厚くして欲しいです。今回の回答も頑張っている側からすると全然足りません。

物価高や各ローンの返済など子育て世代の生活は厳しい状況になっています。もうひと踏ん張りの交渉で社員に明るいニュースを届けてください。

手当などの交渉ができるのは労働組合だけです。今こそ実りある交渉で労働組合の存在価値を高め、社内に労働組合の必要性を浸透させていきましょう。

やはり夏季手当が上がったことが嬉しいです。しかし「生活が苦しい」という声もあるのは事実ですので、少しでも引き上げをお願いしたいです